

上空に注意！架空線切断事故！

事故事例 BHでの架空線切断

BHのブームをあげた状態で後進したところ、防護カバーをつけた架空線に接触し、吊りワイヤーが切断した

【被害】

- 架空線の吊りワイヤー切断

【原因】

- BHのアームをあげた状態で移動していた

【対策】

- 作業手順の遵守の徹底(アームをあげたままにしない)



工夫しています！架空線事故防止対策！

高さ制限確認中



架空線への接触を防ぐため、バックホウのアームをあげすぎないため上限を設けています

ここでもうひと工夫！
架空線との余裕をみこんで制限を設定するとさらにGOOD!



(拡大図)



架空線を意識して、バックホウの上限位置にステッカー。視認性もUP!

地下に注意！地下埋設管損傷事故！

事故事例 BHで埋設線を切断

水道引込工事をおこなっていたときに照明の地中埋設配管配線をバックホウでひっかけ切断した

【被害】

- 地中ケーブルを切断

【原因】

- 電線管理者との立会をせずに掘削した
- 占用物件の近接施工について安全指示がされていなかった

【対策】

- 占用物件の事前調査及び占用管理者との立会の徹底



埋設事故の防止対策！

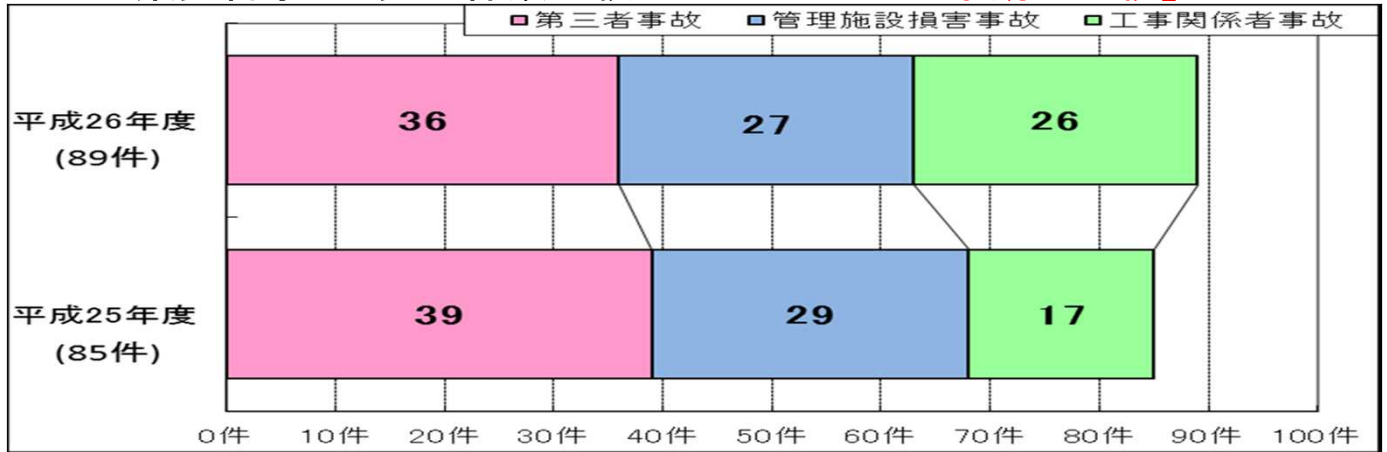
- 危険箇所について、試掘を行い現場に位置と深さを明示
- 危険箇所(横断水路)のチェックリストの作成
- 作業ミーティングで従事者全員に危険箇所を周知する

チェックリスト

測定場所	確認項目	工区担当	現場代理人	監理技術者	品質証明員	支店安全衛生管理者
		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
No.〇〇 +〇m	試掘場所は、的確か	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/2 ㊟
	試掘方法は的確か	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/2 ㊟
	探査機で測定したか					
					
	管路深さのデータをマーキングしたか					
	浅埋設場所の明示をしたか					
No.〇〇 +〇m	試掘場所は、的確か	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/2 ㊟
	試掘方法は的確か	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/1 ㊟	5/2 ㊟
	探査機で測定したか					
					
	管路深さのデータをマーキングしたか					
	浅埋設場所の明示をしたか					

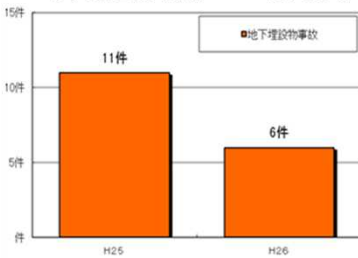
公衆災害・重点項目速報(4月～9月)

◆公衆災害事故 発生件数比較 「H25とH26の上半期の比較」

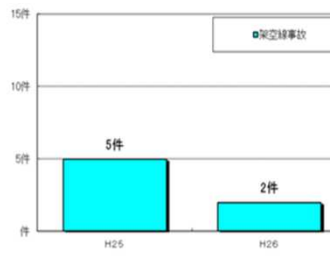


- ・平成26年度の近畿地方整備局管内における上半期の工事等事故件数は平成25年度と比較して増加。**(4件増)**
- ・内訳は、**公衆災害事故は減少(5件減)**、**工事関係者事故が増加。(9件増)**
- ・平成26年度は工事関係者事故が平成25年度と比較して増加傾向、**工事関係者事故は、死亡事故に繋がる可能性が高いため、工事の繁忙期になる年度末に向けて、再度受注者へ安全管理対策について徹底するよう現場への指導をお願いします**

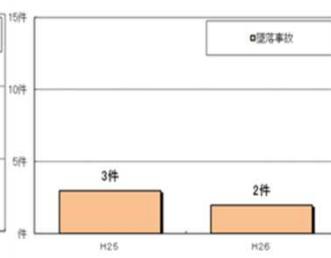
1. 地下埋設管及び施設ケーブルに対する事故



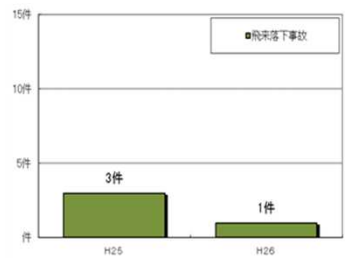
2. 架空線に対する事故



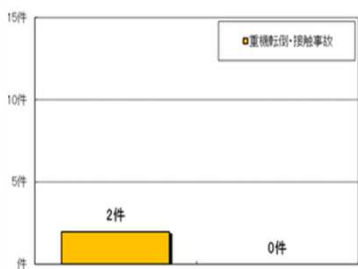
3. 高所作業からの墜落事故



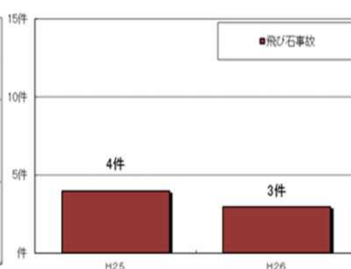
4. 資材・仮設材及び工具の飛来落下事故



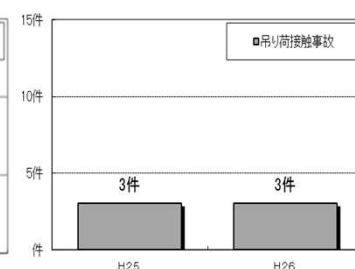
5. 重機の転倒・接触事故



6. 草刈作業における飛び石事故



7. 吊り荷と作業員との接触事故



平成26年重点項目事故の件数は上半期については減少していますが、**地下埋設管の損傷、架空線の損傷の事故は相変わらず起こり続けています。**

減っているとはいえ、油断は禁物です。年末にむけ、工事量が増加し、工事作業も増えていきます。焦らず、手順をまもり、事故のないように作業を進めてください。また、朝ミーティングや現場でのKY活動、声掛け、作業手順の確認をしっかりとおこなってください。一人、一人の意識を高め、事故を起こさないよう心掛けることが大切です。

「平成26年度建設業年末年始労働災害防止強調期間」

～無事故の歳末 明るい正月～

年間を通じて災害の多くなる年末年始を迎えるにあたり、積極的な労働災害防止活動を展開しましょう。



主唱：建設業労働災害防止協会